



～ひな祭りを楽しもう～



ひな祭りってなあ～に？

ひな祭りとは、3月3日にひな人形を飾り、女の子の幸せや成長を願う行事であり、女の子がいる家庭では、ひな人形を飾る方も多いのではないのでしょうか。ひな祭りの起源は所説ありますが、300年以上前の中国で行われていた『上巳の節句』だという説があります。上巳の節句は、漢の時代3人の娘をもうけた男性が、生後3日以内に3人とも亡くしてしまい、娘の亡骸を酒で清め、水葬したという出来事が始まりだと言われています。

上巳とは、旧暦3月の最初に来る巳の日であり、季節の変わり目で邪気が入りやすいと当時の中国では考えられていたので、日本でも、女の子の成長を願うだけでなく、自分に降りかかる災難を人形に移して、川に流す「流しびな」をするようになったと言われています。なので、3月3日のひな祭りは無病息災を願って厄払いを行う行事だったという事です。

<親子でカップちらし寿司作り>

<材料>

- 米…適量 ・ちらし寿司の素…適量 ・卵…1個
- ・絹さや…適量 ・桜でんぶ…適量 ・カップ皿（プリンカップや透明の皿だと中身が見えて可愛いです）

<作り方>

- ① 寿司の素に書かれた量の米を炊き、ちらし寿司の素を混ぜる。
 - ② 絹さやをさっと茹でて筋を取り、食べやすい大きさに切る。
 - ③ 卵を耐熱容器に割り入れてよく混ぜ、電子レンジで30秒程度加熱したらすぐによくかき混ぜて炒り卵を作る。
 - ④ カップ皿にちらし寿司を盛る。（具材を乗せるので、8分目ぐらいの高さまで）
 - ⑤ ④の上に絹さや、炒り卵、桜でんぶを盛り付けたら出来上がり！
- ※ 下線部分はお子様と一緒に出来ますので、良かったら一緒に作ってみてください！



<おひなさまを作って見よう！>

<材料、道具>

- ・ヨーグルトの空きカップ（紙製のもの）
- ・千代紙・クレヨン・のり・画用紙（肌色）
- ・おうぎ、かんむり、えぼし、しゃく等の形の画用紙

<作り方>

- ① 千代紙を適当な大きさにちぎる。
 - ② ①をのりでカップに貼る。
 - ③ 肌色の画用紙を丸に切り抜く。
 - ④ ③で作った顔にかんむりとえぼしを貼る。
 - ⑤ ②のカップに④で作った顔を貼り、それぞれにしゃくとおうぎも貼って完成！
- ☆ ひな祭りの日にお子様と作ったり、お部屋に飾ったりしたら可愛いですね！



「おいしいおひなさま」

文：すとうあきえ 絵：小林ゆき子
出版社：ほるぷ出版



ねずみやうさぎ等の動物たちが、お雛様を手作りするというストーリーです。それぞれの動物が好む食べ物を使って作るお雛様が可愛らしいです。ひな祭りの由来も学べるので、ぜひお子様と一緒にひな祭りについて学んでみてはいかがでしょうか！

おすすめの絵本

「みんなでおひなさま！」

作：きむらゆういち 絵：ふゆのいちこ
出版社：教育画劇



お雛様が大好きなこぐまのまーが作った、大きなお雛様が風に飛ばされてしまうという、ワクワクドキドキのストーリーです。赤ちゃんが喜ぶ可愛らしい動物の絵としかけ付きなので、初節句の読み聞かせにぴったりです。